

薬剤部

薬剤部長 小原義巳

〔令和3年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の課題に対する目標
適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。
良好なコミュニケーションをとり、チームワークを活かして業務を行う。

1 業務体制

(1) 業務内容

○調剤室業務	外来・入院調剤、院外処方箋監査・交付、 外来・入院がん化学療法監査・調製、注射箋調剤
○倉庫室業務	注射・外用薬定時払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋用薬剤払出
○製剤室業務	T P N調製、院内製剤調製
○医薬品管理業務	麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、 一般薬管理、マスタ管理業務
○夜間救急診療業務	採用医薬品管理
○D I業務	医薬品情報の管理・提供、副作用の報告
○病棟業務	病棟薬品管理、服薬指導、病棟薬剤業務
○外来業務	医薬品管理、外来患者服薬指導
○研修対応業務	院内研修会、院外研修会
○委員会業務	薬事委員会、治験審査委員会、化学療法委員会
○事務業務	庶務

(2) 業務スタッフ

常勤薬剤師 14 名，非常勤薬剤師 8 名，非常勤助手 3 名

2 業務実績

① 薬剤管理指導料算定件数（表1）

	合計	3 F	4 F	5 F	6 F	7 F	ICU	GCU	NICU
令和元年度	11,642	2,605	2,211	1,844	2,020	2,006	370	90	496
令和2年度	10,314	1,644	2,188	1,812	1,743	1,878	367	139	543
令和3年度	11,491	2,254	2,248	2,034	1,480	2,051	261	328	835

② 院外処方箋発行率（表 2）

	発行率	合計	院外	院内
令和元年度	97.0%	46,104	44,710	1,394
令和2年度	96.3%	41,574	40,053	1,521
令和3年度	95.5%	44,661	42,659	2,002

③ TPN、外来・入院がん化学療法の無菌調製（表 3）

	TPN 調製件数	がん化学療法注射箋件数
令和元年度	34	1,145
令和2年度	121	1,197
令和3年度	45	1,148

④ 病棟薬剤業務実施加算件数（表 4）

	合計	3F	4F	5F	6F	7F	ICU	GCU	NICU
令和元年度	13,877	2,982	2,364	2,365	2,527	1,702	522	420	995
令和2年度	12,425	2,066	2,427	2,229	2,236	1,643	412	471	941
令和3年度	13,783	2,429	2,480	2,726	2,221	1,794	422	550	1,161

3 1年間の経過と今後の目標

薬剤管理指導については、表 1 のとおり、令和元年度は 11,642 件、令和 2 年度は 10,314 件、令和 3 年度は 11,491 件であった。令和元年度から令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり 1,328 件の減少であったが、令和 3 年度は 11,491 件と令和元年度とほぼ同等まで回復した。月平均は約 958 件で昨年度から 100 件近く増加した。

院外処方箋発行率は、表 2 のとおり、令和元年度から令和 2 年度は 0.7 ポイントの減少であったが、令和 3 年度は 0.8 ポイント減少し 95.5%であった。今年度は新型コロナウイルス感染患者への院内処方の対応が増加したため、発行率が減少した。

TPN や外来・入院がん化学療法の無菌調製については、表 3 のとおりだった。TPN 調製は、令和 3 年度は 45 件であり令和 2 年度より 76 件の減少。がん化学療法の無菌調製件数は、令和 2 年度では外来 946 件・入院 251 件であったが、令和 3 年度では外来 917 件・入院 231 件となった。外来件数は 29 件減、入院件数は 20 件減、全体として 49 件の減少となった。

後発医薬品は、出荷調整や製造中止で先発医薬品に戻した品目もあり、400 品目と昨年度より 35 品目の減少となった。しかし、後発医薬品指数も目標である 88.5%を超えていた。

薬薬連携に関しては、連携充実加算の算定要件である研修会を今年度もオンラインで開催した。また、PBPM については疑義照会済みとみなす新たな 1 項目を審議して来年度から追加し、千葉県薬剤師会と契約を締結することとした。

今後の目標としては、診療科の増加に伴う適正な人員配置の検討や機能評価受診のためのマニュアルの見直しを行い、新薬等にすばやく対応出来るように自己研鑽に励み、病棟業務や外来業務に質の高い介入を目指し、常に患者の気持ちに寄り添い安心して信頼される薬剤業務を遂行していきたい。

〈資格修得〉

がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	1名
救急認定薬剤師（日本臨床救急医学会）	1名
糖尿病薬物療法履修薬剤師（日本くすりと糖尿病学会）	1名
日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	9名
認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）	5名
研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	5名
がん専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	1名
栄養サポートチーム専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	4名
日本DMAT隊員	1名
スポーツファーマシスト	2名
千葉県糖尿病療養指導士	1名
千葉県災害時支援薬剤師	1名